

年の瀬を迎え、公私ともに慌ただしい毎日と思います。今年には新型コロナウイルス感染症の猛威が世界中で荒れ狂い、いまだに終息の目途が立っておりません。後世の歴史に悲惨な年として特筆されることは間違いないでしょう。今この時も罹患者が急増し医療崩壊が懸念される中、肉体的・精神的な負荷、さらには周囲からの偏見を受けながらご苦勞を続けられる医療・介護従事者の皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。また、授業形態の変更や学生支援では教職員の皆さんに学生目線に立ったご対応をいただきました。重ねて感謝申し上げます。

さて、今年には皆さんにとってどのような1年だったのでしょうか？宇都宮大学としてこの1年を振り返り、私なりに「2020 宇都宮大学 10 大ニュース」を選んでみました。新型コロナに振り回され、あらたな事業展開等は極めて限られた年でしたが、将来の布石となる前向きなものも散りばめられています。これらは全て、直接に関係するみなさんの多大なご尽力はもちろん、すべてのみなさんの日頃のご協力により達成されたものです。心からお礼申し上げます。

新年度は第3期中期目標・中期計画期間の最終年度で、令和4年から始まる6年間の第4期について中期目標・中期計画案を7月までには提出、文科省との簡単ではない調整を経て承認を得ます。With/After コロナの社会で本学が果たす役割は何なのか、本学の組織や学問分野の存続も含め、過去の延長・外挿としての期待や予測が不可能な時代にあって、全ての教職員が当事者意識を持ち、前向きに知恵を出し合う必要があります。

本学の強みは何といっても“Small is Beautiful”、コンパクトな組織であることです。構成員同士の意思の疎通や連携のしやすさを享受し、組織としてのフットワークの良さを生かしていけるなら、社会・学生にとって一層魅力的な大学に進化できることは間違いありません。4月からは池田新学長の下で、楽しく活力ある大学として更に変貌を遂げていくことを確信しています。

一年間本当にありがとうございました。今年度は12月29日から1月3日までと例年より短めなお休みですが、どうかプライベートな時間を大切に、良い休暇と新年をお迎え下さい。

【2020 宇都宮大学 10 大ニュース】

- ◆コロナ禍が大学の事業に多大な影響
(オンライン/ハイブリッド授業の導入、卒業式・入学式など大学行事の中止、海外留学の中止や延期、会議・各種イベントのオンライン化、在宅勤務の実施など)
- ◆コロナ禍に伴う緊急支援策「緊急学生支援パッケージ」(総額2億円)の策定と実施
- ◆コロナ禍に対する学生/保護者目線に立った支援が注目(特に学長・理事・教員が10県で懇談会)
(NHK 全国ニュース・日曜討論等で紹介、国会議員連盟総会で学長がプレゼン、国立大学協会が全国立大学へ好事例として配信など)
- ◆群馬大学との共同教育学部の始動(4月)
- ◆教員への教育研究経費の配分方法の見直し(4月)
- ◆「人事が見る大学イメージ調査」(日本経済新聞社)で「採用を増やしたい大学」全国3位(6月)
- ◆事務組織改革(部課係の間の壁をなくし作業効率化⇒よりクリエイティブな業務への転換)(7月～)
- ◆池田宰理事(学務・情報担当)・副学長が次期学長候補者に決定(10月)
- ◆「地域創生科学研究科博士課程」設置認可(10月)
- ◆働き方改革に対応した業務システム(就労管理システム・教員発注システム)の導入(2月・10月)

なお、本学の躍進に多大なご貢献をされた前理事 茅野甚治郎先生が本年3月14日にご逝去されました。先生が心血注いだ本学の組織改革を始めとする非常に大きなご功績に対し、深甚なる感謝の意を表したいと思います。

補足

【協定締結等（主なもの）】

- （大学間学術交流・学生交流）国立中興大学、西安工業大学との学術交流協定（連携協定）三重大学とのクロスアポイントメント協定
- 栃木県内自治体との相互友好協力協定締結
（壬生町、那須塩原市、足利市、矢板市これにより県内全市町と締結完了）
- 茨城大学工学部、群馬大学理工学部との連携及び協力に関する協定（部局間）

【あらたな競争的資金（主なもの）】

令和2年度 運営費交付金（機能強化経費）

- ・共同教育学部設置に向けた設備整備等、教員養成の高度化 48,572 千円
- ・数理・データサイエンス教育強化経費 15,000 千円（令和2年度分）

令和元年度補正予算 国立大学法人設備整備費補助金

- ・共同教育学部遠隔授業システム 92,606 千円
- ・マイナンバーカード活用等による事務システムの効率化（モデル事業）73,285 千円

令和2年度補正予算 国立大学法人情報機器整備費補助金

- ・大学等における遠隔授業の環境構築の加速による学修機会の確保 18,000 千円
- ・GIGA スクール構想の加速による学びの保障 32,490 千円

令和2年度に獲得した主な競争的資金

- ・国際化拠点整備事業費補助金（大学の世界展開力強化事業） 12,660 千円（令和2年度分）
- ・科学研究費補助金 基盤研究（S） 35,620 千円（令和2年度分） 工学系 山本(裕)先生
- ・科学研究費補助金 学術変革領域研究（A） 35,490 千円（令和2年度分） 工学系 玉田先生

国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム

- ・毎年3名の国費留学生枠が優先的に配置される。